

広土会新聞

第26号

2022.3.1 発行

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

2021 年度を振り返って



広土会会長

石井 義裕

福原輝幸前会長の後、本年度より新たに広土会会長を仰せつかりました石井義裕です。1998年に広島工業大学に着任して、もう20年余になりました。私が着任したときの学科名称は「建設工学科」でしたが、その後「都市デザイン工学科」「環境土木工学科」と変遷してきました。皆様のお知恵を拝借しながら、いろいろな学科名称を検討し工夫してきましたが、やはり「土木」の名称が一番しっくりくるのは、皆様も同じかと思います。

2021年度はコロナ禍のため約半分の科目が対面型授業、残りがオンライン型授業として始まりました。1年ぶりに対面型授業を行うことができ、やはり学生の顔を見ながらの講義は非常に有意義なものだと痛感しました。しかしながら、2022年の1月にはオミクロン株の流行により、再び原則オンライン型の授業になってしまいました。よく、オンライン型の授業のデメリットが取り上げられますが、一方で学生から「自分のペースで学習できる」「何度でも復習することができる」との声があることも事実です。オンライン型の授業は、一見受け身に見えますが、分からないことは積極的に調べていくという、大学

生としての学習への姿勢に合致しているのではないかとの見方もあります。何事にも両面があると考えさせられる1年でした。

環境土木工学科の近況を御報告申し上げます。2021年2月には、水理学・環境工学の分野で研究・教育にご活躍されました、二神種弘名誉教授（享年77才）がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。2021年度は竹田宣典学科長をはじめとする14名の教職員で教育・研究にあたっています。10月には、石垣 衛先生が教授に昇格されました。海岸工学、海洋開発や生態系工学などの研究のみならず大学・学科運営においても、持ち前の情熱を発揮され一層ご活躍頂けるものと期待しています。2022年3月には、堀部秀雄先生（教授）と村中昭典先生（技術職員）が定年退職されます。堀部先生におかれましては、1991年にご着任以来、英語教育に邁進頂き、多くの学生に英語教育・英語文化をお伝え頂きました。堀部先生を通じて英語に魅了された方も多くいらっしゃると思います。村中先生におかれましては、1985年にご着任以来、土木工学科と卒業生の皆様をつなぐ重要な役割を果たして頂きました。現在でも、建設工学実験、測量学実習、設計製図などで重要な役割をお願いしています。また、学生の就職についても欠くことのできない存在となっています。厳しい指導の反面、学生の良き相談相手として接し

てこられたお人柄には敬意を払います。お二人の先生とも一旦退職ではありますが、4月から環境土木工学科の教職員として引き続きご活躍頂くことになっています。また、卒業生でもいらっしゃる小堀慈久先生には昨年度より、客員教授として学生の資格取得（特に技術士1次試験）に尽力頂いており、在学中の合格に結びついています。

今年度は、新2号館2階に「土木塾」と「土木サロン」を設営しました。「土木塾」では学生が自由に学習を行い、レポート作成や製図などを自主的にこなす部屋として機能しています。「土木サロン」には小堀先生が随時在室されており、主に資格取得を目指す学生に指導をされています。

2021年度は89名の入学生が有り、学科全体では在籍学生が325名となっています。この3月に卒業生する予定者は62名前後となっています。同窓生の皆様のご尽力も有り、就職率も100%近くとなり感謝しています。さらに、現在、就職活動に励んでいる現3年生は100余名もおり、近年では非常に多い学生数となっています。引き続き、学生の就職へのご協力をお願いいたします。（なお、学生数は全て2021年4月時点の人数となります。）

最後になりますが、広土会会員の皆様の益々の発展とご健康を祈念して、挨拶とさせていただきます。

心の映像カタチにします
建設クリエイター



総合建設業

株式会社 栗本

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL (082) 293-8500
FAX (082) 295-8231
【営業所】 岩国

<http://www.kurimoto-gr.co.jp>

明るく伸びる



株式会社 伏光組

代表取締役 伏見 光暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号

TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581

(支店) 松江 (営業所) 三次



総合建設コンサルタント
株式会社 ヒロコ

代表取締役社長 下花 眞二

本社 〒734-0011
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
TEL (082) 250-8515 (代表)

退任挨拶



退任の挨拶

環境土木工学科 技術職員
村中 昭典

2020年からコロナウイルスの影響で生活スタイルも変えなくてはならない日常であります。広士会の皆様におかれましてはそれぞれの立場でご活躍のこととお喜び申し上げます。

1985年4月に本学に着任して36年が過ぎ、2022年3月末で停年退職いたします。この間、多くの卒業生の方々にはいろいろとお世話になり、本紙面をお借りして心より御礼を申し上げます。

振り返って見ますと本学を卒業して1年間民間企業で中学校の造成工事に携わりました。現場は翌年4月開校予定で大変ハードなものでした。新人で何もわからず、全く役に立たなかったことを思い出します。その現場では本学の先輩とJVの職員の方々に助けられて無事に勤めることができました。

その後、縁があり大学に着任することとなりました。着任当時は私も若く、学生達とよく遊び、よく学びの時代で教育・研究も充実していました。

いろいろな研究に携わりましたが主に鋼橋の補修関係でした。国際会議にも出席させていただき、大変有意義なものでした。

2020年からはコロナの影響で初めてリモートでの授業も体験させて頂きました。

当初はトラブルもあり大変でしたが慣れればこれもありかと思えます。今後は大学の授業も対面とリモートのハイブリットのスタイルが多くなるような気がします。

18～21歳の学生たちと30数年過ごしてきました。若者を、時に世代ごと氷河期、プレッシャー、ゆとり、今ではさとり世代と比喻して表現することがありますが、学生と接すると、昔も今も大きな違いはありません。大きく変わったと感じるのは若者を取り巻く環境が変化したことだと思います。今は情報化のツールを使用するのはあたりまえでインターネット、スマホですぐに情報が手に入ります。何も考えなくていいような生活環境になっており、便利で快適に過ごせるようになっています。そのような環境の中で、コツコツと計算したり、考えたりする理系を敬遠する学生が多くなるのはわかるような気がします。しかし、そのような機器を考えた多くは理系の人達です。若者ものに工学の魅力を伝えていかないと少子化が加速していく中で本学のような理系大学の希望者がますます少なくなっ

いくのではないかと大変危惧しています。今はただ若者たちの理系希望者が多くなることを切に願っています。

最後になりましたが、多くの卒業生の方々に会ったことが私の一番の財産です。卒業生の皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。

なお、4月以降も再雇用でもう数年大学にお世話になることになりました。停年ということで退任挨拶をさせていただきます。これからもよろしく願いいたします。

支部だより



近況報告

関西支部（13期生）
今田 光成

皆さんこんにちは、524018 今田光成です。今でも学生番号を暗記しています。還暦を過ぎて物忘れが多くなり、学生時代は暗記力が良かったのだと、なおさら感じているところです。

今回、川岡支部長から依頼をお受けして執筆させていただくこととなりましたが、私が関西支部の活動に参加させていただくようになるきっかけも川岡さんをはじめ前回の近況報告を執筆されました綱本さんなど日本橋梁株式会社の皆さんからのお声掛けをいただいてからです。

私が勤務させていただいている会社は株式会社トーヨーテクニカと申しまして、鋼製橋梁の現地架設工事をはじめ鋼製煙突工事、ダム鋼製ゲート、水圧鉄管、海洋構造物のジャケットやハイブリットケーソン、鋼板セルなど、鋼製の構造物工事に特化した現地架設据付工事会社です。土木と言いましても、ごくレアな部門ですので、機械や建築にも近い部門でもあります。広工大の卒業生も土木工学科のみならず各科にわたって、日本橋梁さんをはじめとした橋梁メーカー、重工メーカー各社に就職されていますので、いろいろな場面でお会いすることがあります。

大変勝手とは存じますが、この場をお借りしまして、弊社の紹介と社員募集をさせていただきたいと思えます。弊社は、1903年尾上組として創業し、後に社名を尾上工業株式会社として、1991年に現社名である株式会社トーヨーテクニカと変更いたしました。創業100年を超えた老舗のメタルに特化した現場架設据付工事会社で施工内容は前述の通りです。詳しくはホームページをご覧ください。現在、私が6代目の代表取締役を拝命しております。広工大卒業後、広島に企業に就職いたしましたが、28歳の時に縁があって当時の尾上工業に転職して今に至っております。弊社は中小企業によくあるオーナー会社ではありません。

せんで、新入社員の面接時には「頑張れば、あなたにもこの会社の社長になるチャンスはある」と必ず言うようにしています。広工大にも募集を出していますが、問い合わせは一度も無いことがとても残念です。私が代表を務めている間に是非とも広工大の卒業生に入社して頂けることを期待しています。

最近の傾向として、弊社のような現地工事会社は嫌われがちで、コンサルタント系会社や土木建設会社でも設計部門を希望する人が多いようですが、設計が上位で現場が下位ということは絶対にありません。機械化、IT化が取り入れられ、カメラで監視してデータで判断することが進んできていますが、土木工事は雨風などの自然現象と戦いながら経験豊富で優秀な現場管理者が直接目で見、最後は人の手を使って造りあげていく。このことは今後も変わらないと思います。

近年では、土木建設業への入職者が減少の一途で、担い手不足、技術・技能の伝承ができないことが取りざたされてきましたので、現場環境も改善されてきて、週休2日制度の採用も定着してきました。一昔前の土木建設業は、「きつい」「汚い」「危険」の3Kと言われてきましたが、最近では、「給料が良い」「休暇が取れる」「希望が持てる」の新3Kに加えて「かつこいい」新4Kに変わってきています。

弊社は、今までに本四連絡橋の3ルート建設にも携わってきましたし、今後も阪神高速道路の大阪湾岸道路西伸部や第二関門橋などの鋼橋のピックプロジェクトも見えています。風力発電施設建設工事にも参入しています。現地工事に挑戦したい学生さん、転職を考えている卒業生の皆さんいつでもHPから連絡下さい。私自身も途中入社ですので、途中入社も大歓迎です。

近況報告と題して弊社のPRが長くなってしまいました。もう一つ、関西支部とは関係の無い話題を紹介させていただきます。

私の学番が524018であることは前述いたしましたが、52年度入学の土木学科卒業生中心に「524会」と称する会を結成し、春・秋の年2回、安芸高田市高宮町のリージャスクレストゴルフ倶楽部で親睦コンペを開催しております。実際は51の方も居られますし、建築科の方も居られますので、524が多いと言うだけです。ゴルフ好きの方はどなたでもウエルカムです。是非参加下さい。県北支部の國原先輩、広島支部の524 橋国さん、参加を待っています。私は関西から出張で参加しています。ゴルフは下手ですが、みんなでわいわいガヤガヤ、広島で過ごした時代の景色がよみがえる様に楽しさがわいてきます。次回開催予定は4月23日（土）です。

冒頭に申しましたように、昔の記憶は鮮明です。五日

ヒューマン・コンシャス。
それがわたしたちの原点です。

MASUOKA
Architectural Contractors Inc.

 株式会社 増岡組

広島本店 / 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番25号 TEL 082-504-5050
呉本店 / 〒737-0051 呉市中央1丁目6番28号 TEL 0823-21-1441
<http://www.masuoka-g.co.jp/>

SMART
CONSTRUCTOR

進化するケンセツ

KATO
Construction Co., Ltd.

 海は私たちのゆりかごです。

大新土木株式会社
(海洋・港湾工事 工事)

大新電工株式会社
(送変電設工事 照明・動力工事 消防設備工事)

ダイユウ技研土木株式会社
(産業廃棄物最終処分場施設 ISO14001)

〒737-0811 広島県呉市西中央3丁目1番31号
TEL: 0823-22-2434 FAX: 0823-22-2439
<http://www.dai-g.co.jp/>

市で過ごした4年間（私の場合は付属広島高校ですので7年間）縦のつながり横のつながり、昔話をしながら飲む酒は美味しいものです。また、関西支部の活動に参加させていただくようになってからも多岐にわたっていろいろな職種の方々とお話ができて親交が広がりました。各支部活動にも是非参加してみてください。



近況報告

島根支部長（16期生）
多久和 豊

寺沢前支部長の後を受け、今年度より広島会島根県支部第5代の支部長を拝命しています16期（昭和59年）卒業の多久和豊と申します。島根県支部の活動は新型コロナウイルスの影響により今年度も行うことができず、島根県支部会員の皆様にも支部長就任のご挨拶ができていない状況です。この誌面をお借りしご報告いたします。

広島会島根県支部の会員数は現在約160名です。その内事務局でメール等の連絡先が把握できている会員は約50名です。私は今年還暦を迎えますが、広島会島根県支部の活動に参加するようになったのは15年程前からです。それまでは日々の忙しさを理由に参加をためらっていました。参加するきっかけは、勤務するコンサルタントが受注した設計業務発注者の担当部長となった先輩からの声掛け（命令?）でした。毎年年末に行われる支部忘年会を兼ねた総会には1期卒業の大先輩から20歳代の後輩まで20名程度の方が集まり、仕事や趣味、昔話等で盛り上がっています。

先日、以前からお互いの存在は知っていたけど話をしたことが無かった方と名刺交換し、その方が同じ高校の先輩だったことがわかりました。その瞬間から親近感が沸き、その方とはそれ以降仕事において近過ぎず遠過ぎずのいい関係が築けています。今考えると支部の活動にももっと早くから参加しておけばうまくいっていたことが多々あったように思います。

新支部長として今、ひとりでも多くの会員の方と知り合い話がしたいと思っています。個人情報保護等でネットワークの拡充が難しい状況ですが、まずこの投稿を読んでもらいたい、広島会島根県支部の活動に興味をもっていた方は下記まで連絡ください。優しい先輩や頼もしい後輩がきっとあなたの味方になってくれますよ。

島建コンサルタント(株) 多久和 豊

会社 TEL : (0853) 53-3251

E-mail : yutaka.takuwa@simaken.co.jp

個人携帯 : 090-4805-1146

近況報告



広島支部 幹事長（26期生）
新田 勉

広島会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は広島支部で幹事長をしております第26期生の新田と申します。微力ではありますが、支部を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

私は、大学卒業後、広島県庁へ就職し、本庁では道路整備課や砂防課、地方機関では東広島、廿日市などに所属し、広島県道路公社では安芸灘大橋など長大橋の建設や、また、東日本大震災の復旧・復興支援のため福島県で災害復旧事業へ従事しました。この間、多くの広島会の諸先輩方にご指導を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

近年、全国各地において異常気象により土砂災害や浸水被害が発生し、尊い人命や財産が失われており、本県においても、毎年のように災害が発生しています。皆様方の記憶にも新しい平成30年7月西日本豪雨災害では、私は砂防課に所属していました。平成30年7月には本県だけで年間の全国平均を上回る1,242箇所土砂災害が発生する未曾有の大災害でした。その対策として、県内で緊急事業として、約300箇所砂防ダムなどの防災施設を整備し、現在、フォロー事業を実施しています。また、公共土木施設災害は2,550箇所へのぼり、このうち約7割が完成しています。復旧に向けて取り組んでいる中、令和2年、3年と立て続けに豪雨に見舞われ、被災箇所が増加し、その対応にあたっているところです。このような状況ではありますが、早期の復旧に向け全力で取り組んで頂いている建設業者やコンサルタントの方々の土木技術者の熱い思いに勇気づけられます。

また、ハード対策だけでなく、県では様々なソフト対策にも取り組んでいます。次世代を担う小中学生に対する防災出前授業や、地域の皆様と連携し防災に関する啓発・伝承活動を実施し地域防災力の向上に努めています。引き続き、建設業に携わるすべての方々のご支援をいただきながら、ハード・ソフト一体となった総合的な対策を推進し、早期の復旧、県民の安心・安全な暮らしづくりの実現に向けて取り組んでまいります。

プライベートでは、在学中は広工大サッカー部に所属しており、今なおサッカーを続けています。ここ数年は、少年サッカーチームの指導をしており、地域の子供たちと一緒にボールを蹴り楽しんでいます。子供たちの無邪気な笑顔を見ると、元気付けられます。老体にムチを打ってもう少し頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、広島会の益々の発展と、会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症に留意され、益々のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



「広島会の絆」

広島県北支部事務局（29期生）
宮本 大輔

広島会会員の皆様、こんにちは最近ゴルフ動画にはまっています29期生の宮本と申します。

このコロナ禍で同窓会をはじめ多くのイベントや交流の場が開催できず、寂しく思っている今日この頃です。

私が大学を卒業し「浅野工事株」の九州支店に就職した頃は、日本の景気もバブル時代が終わり低迷を始める時でした。そのあおりもあってか勤務先も3年後にはリストラが始まり早期退職者を募っていたので、これを機に地元に戻り家業である「宮本工業株」に勤務して現在に至っています。

地元広島県三次市に帰った頃、県北で同窓会が毎年行われていることを知り、その年初めて広島会広島県北支部の定期総会及び懇親会に参加しました。

当時の和田支部長をはじめ先輩方が社会人4年目の私を快く(?)迎えていただいたことに今でも感謝しております。また、同時に県北にたくさんの卒業生がいらっしゃることに驚きと安堵感を覚えました。

それ以来できる限り参加させていただき諸先輩方と楽しく、時には厳しいお言葉も頂きながら自分は成長し絆ができたかなと思っています。

今では、同級生や後輩も増えましたが同窓会に毎年参加される方は少なくなり15名に満たない時もありました。

広島会広島県北支部の國原支部長、加藤副支部長、事務局を中心に参加しやすい同窓会を目指し様々なイベント、親睦研修旅行やゴルフによる交流会など試行錯誤しています。

この時代だからこそ、広島会の絆が大切ではないでしょうか。

早くコロナが収束し同窓会が開催される日がくることを心待ちにしています。

最後になりましたが、広島会の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



洋伸建設株式会社

代表取締役 山本 晴樹

本社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520
アバンティークラウド7F FAX(082)511-4521
営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州
事業所 黒嶽
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>

皆様からの信頼を財産に



八光建設工業株式会社

本社 〒732-0052 広島市東区光町2-4-23
Tel(082)262-8166(代) Fax(082)263-8189
<https://hakkokensetu.co.jp/>

道路埋設指針

建設大臣認定擁壁

P Cボックスカルバート ザ・ウォール (H=5.0m)



株式会社 マシノ

本社 〒733-0822 広島市西区庚午中1-19-23 (082) 507-2757 (代)
東広島営業所 〒739-2312 東広島市豊栄町別府270 (082) 432-4132 (代)
福山支店 〒720-0805 福山市御門町2-5-39 (084) 925-8855 (代)
山口支店 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130 (083) 973-3533 (代)
山陰支店 〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸186 (0855) 55-0124 (代)
本店 〒699-5133 島根県益田市神田町口615 (0856) 25-2380 (代)
工場 広島・江津・益田

卒業だより



近況報告

開盛建設株式会社 (42期生)
村上 大輔

私は平成21年度に都市建設工学科を卒業し、大学院の修士課程、前職を経て現在は島根県鹿足郡吉賀町の開盛建設株式会社に役員として勤務しております。弊社は従業員数20人程の小さな会社で、農林関係の土木工事を主軸に、近年は構造物の長寿命化や維持・修繕工事等も受注させていただいております。主な受注先といたしましては島根森林管理署、島根県、吉賀町となっております。

私は6年程前に1級土木施工管理技士を取得し、主にほ場整備工事に携わせていただいております。工事の内容としましては、既存の田畑の区画を整理し、用排水路、耕作道路等を整備するものです。これらの整備に伴い、主任技術者として施工管理全般や発注者や地権者、関係機関との協議・調整業務を担っております。ほ場整備工事は、現場の広さに加え、あくまで図面は大筋の目安であり、現地状況や地元要望等により場所毎の変更や対応が求められる工事です。また、土地柄もあって、雨や雪が多く作業可能日が少ないことに加え、新しい田んぼでの作付けを待ってられる地元の方がおられますので、工期には毎度悩まされております。そのような中でも、地元の方や発注者様に喜んでいただけるような成果物を納品させていただき、近年では、ほ場整備といえは弊社という形で名前を挙げていただくことも多くなりました。

また、令和2年度完成の私が担当した工事が、会社としては知事表彰優良工事を、個人としては優秀技術者表彰

を受賞させていただきました。私自身まだまだ技術者としては未熟であり、受賞に関しては恐れ多い気持ちが強いですが、今まで会社として積み上げてきた信頼や仲間の協力のおかげだと思っております。この賞に恥じないように努力を続けていくとともに、弊社がより多くの工事を受注させていただいて、末永く地域貢献できるように、尽力したいと思います。

次に学生時代のお話をさせていただくと、思い返せば、考え方はすごく甘かったですし、優秀な学生でもありませんでした。そのような私が、上記のような賞を受賞させていただいたり、工事の責任者や役員としての業務を日々こなせているのは、研究室に所属させていただいていた今川先生や当時の先生方のご指導が基盤となっていると実感しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

最後になりましたが、広島工業大学の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。



写真1 着手前

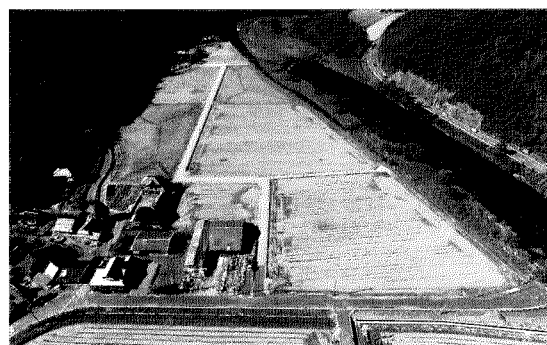


写真2 完成



写真3 完成(水張時)

事務局だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広土会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入欄の右欄の○年3月の○が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。終身年3月の方は会費の納入の必要はありません。

また、19期生の方は会費5,000円納入で終身に移行できますので納入の方よろしくをお願いいたします。

広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広土会50周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いないようお願いいたします。

広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、4期生-50周年、14期生-40周年、24期生-30周年、34期生-10周年、44期生-10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡いただければご協力いたします。

皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広土会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

*事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等はFAXかメールにてお願いいたします。

HPアドレス: <http://www.kodokai1968.jp/>

パスワード: kodokai2014

FAX (082) 921-8976

E-mail: kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

訃報



二神 種弘 教授(水理学・環境工学)

在職 昭和51年(1976年)4月~平成24年(2012年)3月
令和3年2月21日、ご逝去されました(享年77才)



株式会社 神崎組

代表取締役社長 神崎 文吾

本社 姫路市北条口三丁目22番地
TEL 姫路(079)223-2021(代表)
FAX 姫路(079)281-8191
支店 大阪
事業所 敦賀・三木・岩国



山陽工業株式会社

SANYO CONSTRUCTION CO. LTD.

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805
TEL(082)-232-6471 FAX(082)291-2233
<http://www.landingsanyo.co.jp/>

総合建設業
占部建設工業株式会社

代表取締役 占部 寛

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215
広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44
TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443